

## 特集

# 行政・教育機関・自治会と連携した 活動を行っているクラブ

## 幅広いジャンルでの活動が 多岐にわたる連携を生む

### NPO法人 クラブおおづ

スポーツ振興はもちろんのこと、地域の課題を解決するために具体的に事業化を検討し、実践している「クラブおおづ」の取り組みは、他クラブにとっても大いに参考になるものです。地域の各種機関・団体と連携することになったきっかけ、連携するまでの取り組み、具体的な活動をご紹介します。

#### ♂ キーポイント

- ◎地域の課題解決のための具体的な事業化
- ◎観光協会への積極的な提案
- ◎幅広いジャンルの活動
- ◎コーディネート力とマネジメント力

## 1 | クラブ概要

平成15年のクラブ設立当初は「ジュニア育成」の場としての役割が大きかったのですが、現在では町民の健康づくりの場として大きな役割を果たすようになりました。

主な事業としては、スポーツサークル啓発事業、学校サポート事業、健康推進事業を行っています。本年度は「クラブ活動で大津町ライフを楽しもう！」というキャッチフレーズで、会員だけではなく町民全体を対象とした事業を展開しています。

## 2 | 各種機関・団体と連携し、地域の課題を解決

「NPO法人クラブおおづ」（以下、クラブ）は、スポーツ振興はもとより、地域の課題解決をどう実践していくかを常に模索しています。クラブが所在する大津町は、「健康づくり」と「観光」に力を入れており、クラブとしては、町の振興総合計画や方針について徹底的に読み込み、地域課題の解決のため、具体的に事業化を検討します。

健康づくりに関しては、「どういう結果を、どういった方法で、いつまでに出すために、何をするか」を徹底的にクラブで話し合い、企画書として行政に提案します。企画書の作成にあたっては、健康運動指導士や指導者資格を有するクラブスタッフの専門知識をフルに生かし、「公共事業」として取り組めるよう、より具体的かつ効果的な事業を検討して進めています。

また観光については、2年前に「肥後大津観光協会」が設立されましたが、観光協会の委員としてクラブから参入しています。観光協会と連携した「スポーツコンベンション」に力を入れており、食育事業の展開を行い、健康に良い食品などの商品開発等も手がけています。これも、ヘルスツーリズムの観点から、観光協会や大津町の食品を扱う商店の方々に、商品開発の提案や相談を持ちかけ、協議するなどクラブからの積極的な提案によるものです。

### 3 | 活発に行われている多くの事業・活動

◇行政や自治体などと連携して以下の事業を行っています◇

#### ●食育／ヘルスツーリズム事業／700,000円(予算)／商工会から委託

- ・食育推進リーダーの育成、翔陽高校の食物科と連携し、人材育成講習会を行う
- ・フットパス×食育事業として、街歩きをした後に、体にいい食事を提供し運動と食育の推進

#### ●健康推進事業／6,250,000円(予算)／大津町から委託

- ・In Body測定会(年間18回)
- ・貯筋ステーション教室：貯筋運動プロジェクト(年間62回)
- ・教室フォローアップ教室：In Body測定会経過モニタリング(年間10回)
- ・夏休み特別教室：ラジオ体操と朝トレーニングを組み合わせたの事業展開(年間47回)
- ・健康推進大会：InBody測定、かみかみメニューの提案、食育リーダーアンケート調査(年間1回)
- ・生活習慣病予防教室：(年間12回)
- ・個別相談、プログラム作成：新規の運動、栄養、歯科口腔の個別相談とプログラム作成(21人に対して実施)  
※実施回数、参加者等は平成26年度3月末実績

#### ●夏休み学校プール開放事業／1,000,000円(予算)／PTAから委託

- ・PTAと連携し、夏休みのプール開放事業にクラブからプログラム提供及び人材派遣(5小学校)

#### ●運動療育事業／600,000円(予算)／児童発達支援センターから委託

- ・平成27年度から、若草児童学園からクラブに直接委託、月10日ほど運動指導訪問を実施  
※平成26年度：クラブから週1回、白川おひさまクラブ(別の児童発達支援センター)にクラブからスタッフが事業所との連携や実施訓練、勉強として訪問実績あり



健康推進事業(運動指導)



健康推進事業(栄養指導)



親子で栄養指導を受ける



子どもたちの着衣水泳の様子

## 4 | 会員の増加や行政・他団体との連携が新たに生まれる

クラブが、自治体やその他団体と連携することによって、さまざまな効果が生じます。例えば、自治体等との連携事業への参加がきっかけで、クラブ会員になれる方がおられ、クラブにとってはPRの機会となっています。また、さまざまな事業を行い、実績を残すことによって、行政からの信頼を得られ、そこからさらなる事業展開にもつながることで、人件費の確保ができ、新たな雇用が生まれます。財政的にも大変よい影響があると言えます。

クラブとしては、スポーツ・観光・健康づくり・町づくり・食育など、幅広いジャンルの活動を行っているため、行政をはじめ、さまざまな団体とリンクし、連携が生まれています。

## 5 | 想像から創造へ。クラブの力をいかに発揮できるか

冒頭にも述べたとおり、町の描く姿にどれだけクラブの活動をリンクさせ、地域を豊かにする手立てを考え、事業として実践していくかが重要なポイントです。

クラブは町の振興計画にあげられた内容をしっかり読み込み、事業に落とし込みます。それには大変な時間がかかり、検討が必要です。

さらに行政を納得させるためには、具体的な事業計画、効果を明示しなければいけません。

どれだけ地域をイメージし、想像から創造に変えられるかがクラブの力の見せどころだと思います。また、結果を分かりやすく示すためには数値化やデータ処理が必要です。クラブ単独では難しいので、そのようなときは、地域の専門家の力を借ります。

クラブは、理念に沿った事業を町の計画に基づいて実践し、そのために地域をどうコーディネートし、マネジメントしていくかが期待される組織であり、その能力が必要だと思います。

(クラブアドバイザー／太田黒尚子)



## クラブプロフィール

- 設立年月日：平成15年4月27日
- 所在地：熊本県菊池郡大津町
- 運営：会員数400人(平成27年8月現在)  
予算規模14,195,621円(平成26年度実績)
- 特徴：大津町には、生涯スポーツの拠点となる運動公園(スポーツの森・大津)施設があり、公園内には球技場、競技場、多目的広場などサッカーができる天然芝ピッチ4面、総合体育館(メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルーム)及び弓道場が配置されています。この運動公園を有効活用するため、行政とクラブおおづとの協働による町民の健康推進事業やスポーツツーリズムに取り組んでいます。

連絡先：〒869-1217 熊本県菊池郡大津町森1000 大津町運動公園内  
TEL/FAX：096-294-2922  
Eメール：clubozu150427@yahoo.co.jp  
ホームページ：<http://clubozu.com/>